**白山信仰所縁の寺（那谷寺）**

風光明媚な重要文化財、小松市の那谷寺。手つかずの森林に囲まれたこの聖域は、さまざまな記録から約1300年前に開創したとされる当時の姿のまま、今日も佇んでいます。僧の泰澄が、近くの白山を崇めるため、そして白山での修験道の修行中に授けられた自然に基づく知恵を広げるために717年に創建しました。現在、那谷寺は、空海（没後、弘法大師としてその名が広く知られる。774～835）が開創した仏教の高野山真言宗の教えを守るとともに、白山信仰や自然智行を仏教の伝統と結びつけてひとつにしています。

白山は、真夏でも融けることのない雪に覆われていることから、すべての精霊が生まれ変わりの前に魂を浄めるために戻ってくる聖なる場所として崇められています。泰澄が自ら彫ったと言われる観音菩薩（慈悲の菩薩）の木像とともに、今日ではこの山が那谷寺の信仰の主たる対象です。開創の教義（神は生きとし生けるものすべてに宿る）は、私たちに本来備わっている自然とのつながりを大切にしています。

美しい境内の背景となる自然の岩々には石段が施され、手で掘られた瞑想の洞穴へと続きます。こうした洞穴は先史時代から祈願のために作られたと信じられています。また、修行者たちが洞穴を母親の胎内になぞらえ、死と生まれ変わりの儀式のために利用していたと言われています。現在、こうした洞穴に入ることは保存や安全面の理由から禁止されていますが、再生の儀式は、那谷寺の本殿「大悲閣」にある天然の洞窟で体験できます。

那谷という名称は、この寺の最初の仏閣を建設し（後に破壊）、この聖地に繁栄をもたらした花山法皇から968年に授けられたものです。当時この地域を治めていた前田家の第3代当主前田利常が、1642年に現在の主たる構造物と三重塔を建立しました。いずれも重要文化財に指定されています。

那谷寺

〒923-0336　石川県小松市那谷町ユ122

詳細情報はこちらまで　natadera.com

宿坊　生雲

〒923-0336　石川県小松市那谷町20-13.14

詳細情報はこちらまで　www.ikumo-hakusan.jp

小松市内で開催されるイベントの情報はこちらまで　explorekomatsu.com